

めぐみちゃん 家族のメッセー ジ

家族がふたたび、写真のように幸せに暮らせる日を願って。



昭和49年・広島・音戸の瀬戸公園で(小4)

横田 滋 写真展

～めぐみさん 家族と過ごした13年

入場無料

8月1日[水]→13日[月]

日本橋高島屋8階ホール

午前10時～午後8時 ※最終日は午後6時閉場。

主催：あさがおの会 共催：朝日新聞社 後援：東京都、川崎市



昭和47年・広島県内で(小2)

めぐみちゃん家族の
メッセージ

横田 滋 写真展

～めぐみさん 家族と過ごした13年

8月1日[水]→13日[月]
入場無料 日本橋高島屋8階ホール

午前10時～午後8時 ※最終日は午後6時閉場。
主催：あさがおの会 共催：朝日新聞社 後援：東京都、川崎市



このたびの写真展は、
横田ご夫妻のご好意により、
めぐみさんの
思い出の品々も
ご覧いただく
貴重な機会
となります。



めぐみさん・双子の弟さんを
モデルにしたお人形

心温かい支援者の方(小平市在住・
藤屋喜代子様)が、写真展で展示
される中の広島・呉で撮影した写真
をご覧になり、心を込めて制作して
くださいました。あまりにも写真とそっくりで、
あの場所のあの時の、風や海の香りが
感じられます。

誕生 生から入園、入学、運動会、遠足、お稽古こと…。愛する子どもの成長を、フラインター越しに慈しんだ、我が子の笑顔と記憶。私達は、その写真の数々を見るととき微笑ましい普通の時間が、ある日突然途切れてしまったことに、憤りと深い悲しみを抱かずにはいられません。

横 田めぐみさんが13歳で家族から引き離され、拉致されてからすでに35年。横田滋さん・早紀江さんは、この事実を、多くの人に考えていただきたいと、大切にしている写真をご覧いただく機会を各地で開いてきました。そして今回、これまでご家族だけの宝としてきた、めぐみさんの思い出の品々の公開も決意されました。遅々として進展が見られない拉致問題に対する横田さんご夫妻の強い思いでもあります。

私 達は写真に写っているかつての楽しかった時間を取り戻したいのです』という滋さん。それはまぎれもない心からの願いなのです。

石高健次氏と横田夫妻の座談会

■8月1日(水) 午後2時から ■1階 正面特設ステージ

石高氏は、拉致問題をはじめ、アスベスト健康被害など、数々の社会問題と取り組んできたジャーナリスト。「めぐみへの遺言」を共著としてまとめた横田夫妻とじっくりと語り合う座談会です。今、我々が何をすべきか…の示唆を与えていただける貴重な機会です。



石高健次氏 プロフィール
'74年朝日放送入社。'11年退社するまで数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。'81年在日コリアンの差別を告発した「ある手紙の問いかけ」でJCJ奨励賞、'97年横田めぐみさん拉致を突き止め、その経緯と家族達の苦悩を描いた「空白の家族達」で新聞協会賞、'05年アスベスト健康被害でクボタの被害実態を世に出し社会的問題化のきっかけを作った。横田夫妻との共著「めぐみへの遺言」(幻冬舎刊、'12.04.20発行)で聞き手を務めた。現在フリーランスで活躍中。

吉田直矢氏によるミニコンサート

■8月2日(木) 午後2時から ■1階 正面特設ステージ

■8月7日(火)・9日(木) 各日 午前11時・午後2時から ■8階 エクセレントルーム

めぐみさんの中学校時代の同級生であり、めぐみさん救出に向けたチャリティコンサートも手がけるバイオリニスト。力強い意思の調べ、心を打つ祈りの調べを、お楽しみくださいませ。

吉田直矢氏 プロフィール
5歳でヴァイオリンを始める。桐朋学園大学卒業後、パリ・エコール・ノルマル留学。セルジュ・ブラン氏(元パリオペラ座ソロコンサートマスター)に師事。留学中、パリで開催された第65回レオポルド・ベランコンクール第1位、第10回バッハ国際コンクールで最優秀賞を受賞。新潟市立寄居中学校でのめぐみさんの同級生であり、本展の主催である「あさがおの会」が制作した短編映画「[たたいま]の声を聞くために」にも出演、めぐみさん救出に向けたチャリティコンサートも手掛ける。

